

○ベースライン証明：

過去、対象地域一体はウミショウブが群生していたが、ウミガメの食害により絶滅を危惧される状態になった。

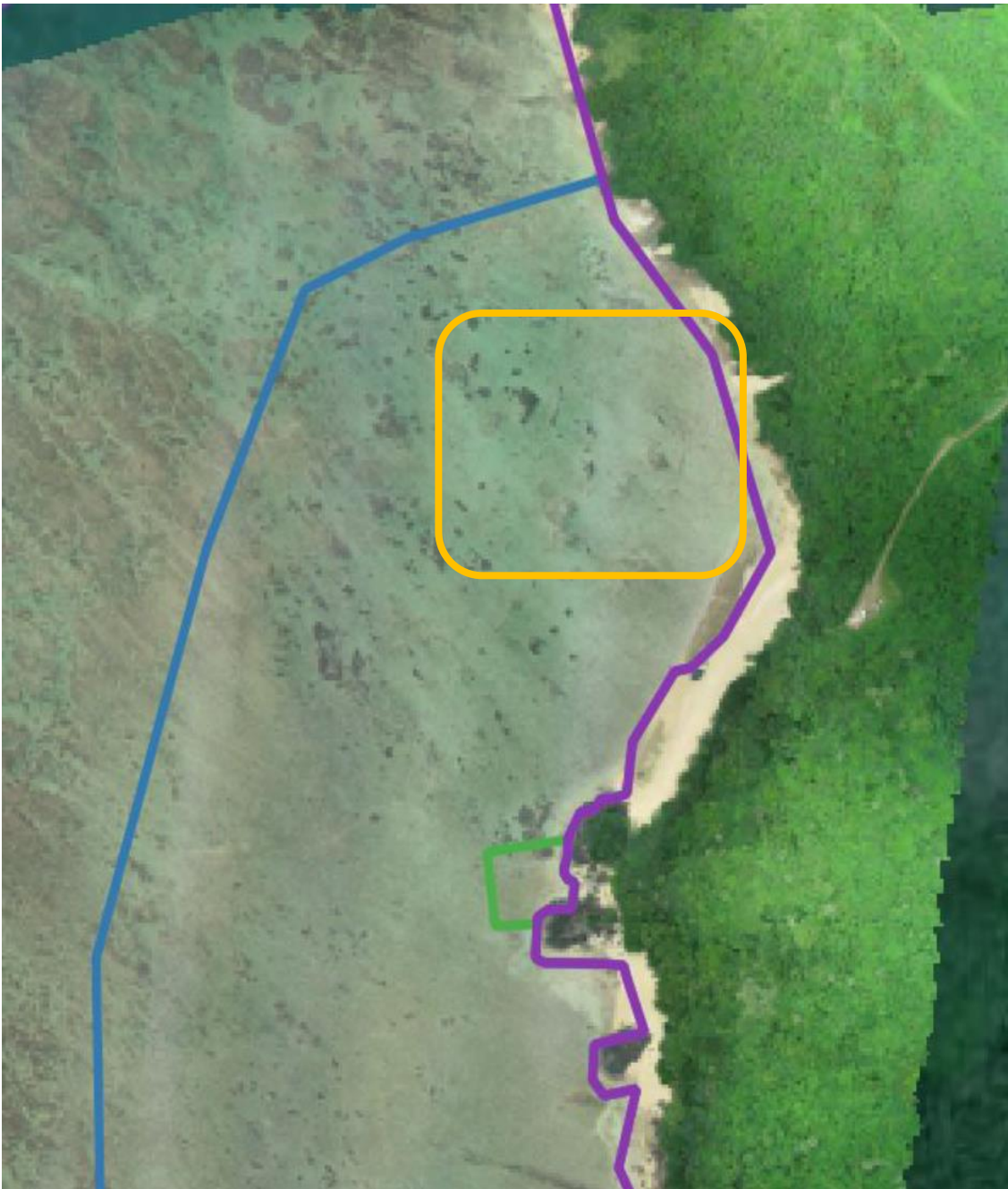
＜2007年撮影＞



＜2021年撮影＞



○ベースライン証明：2024年5月のドローン画像（緑が大型柵エリア、オレンジが小型柵や障害物エリア。右は大型柵設置中写真）



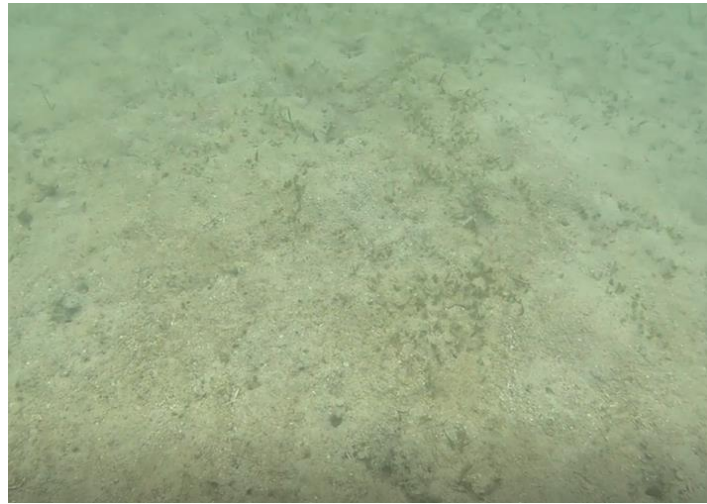
○ベースライン証明：2024年5月のドローン画像（左：大型柵エリアと右：小型柵&障害物エリア）



○ベースライン証明：23年9月の水中写真

ウミガメによりほとんどのウミショウブが食害に。わずかに残された掘り起こされる前のウミショウブ(根)を保護柵で食害防止することで再生を目指した。
なお、残されたウミショウブは葉部分がほとんどなく、仮にブルーカーボンをクレジットを計測した場合にも到底0.1トンにも至ることはない水準であった。

水中は砂漠のような光景が広がる。一部でわずかに残された掘り起こされる前のウミショウブを保護柵で食害防止し再生を試みた



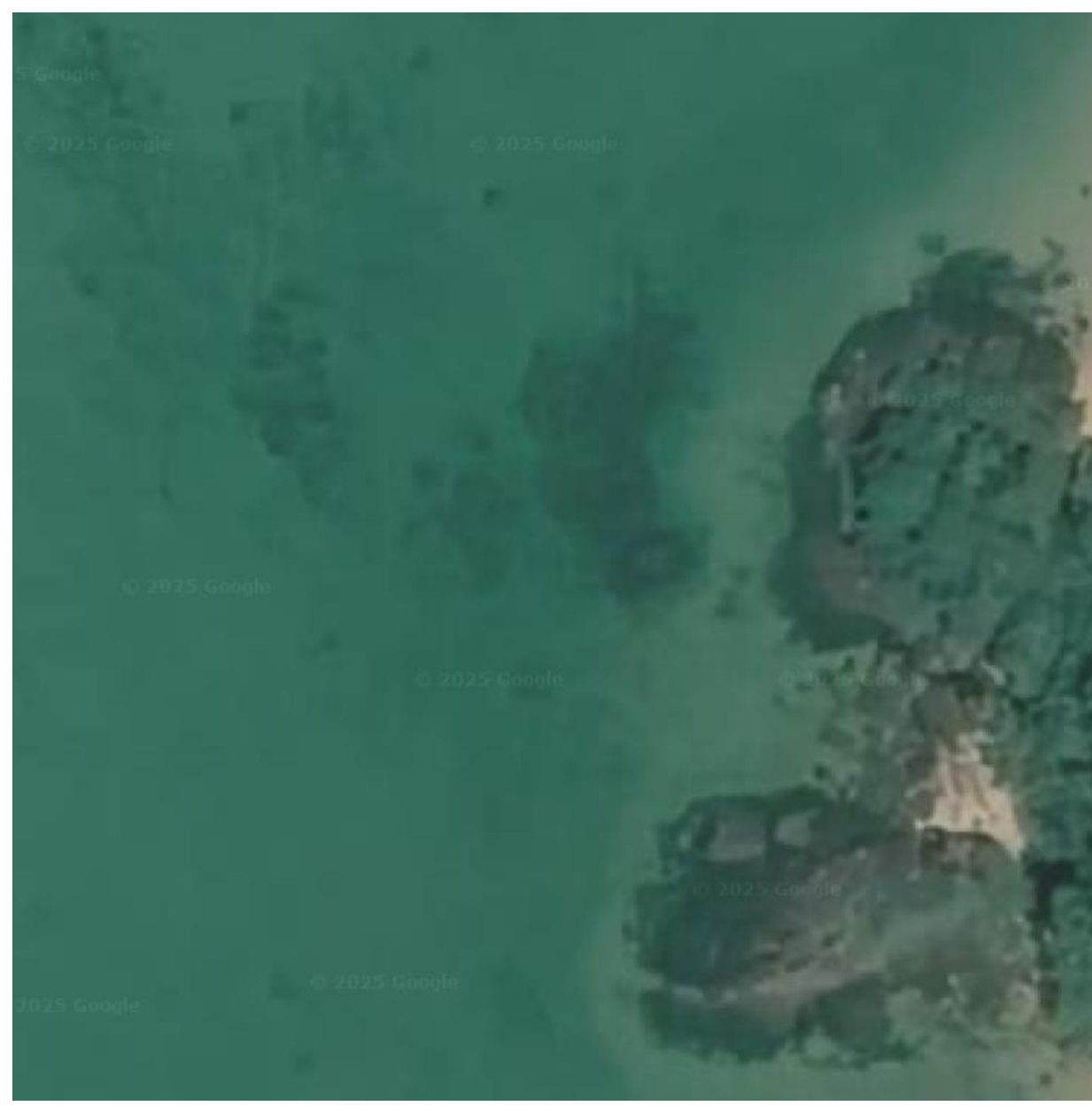
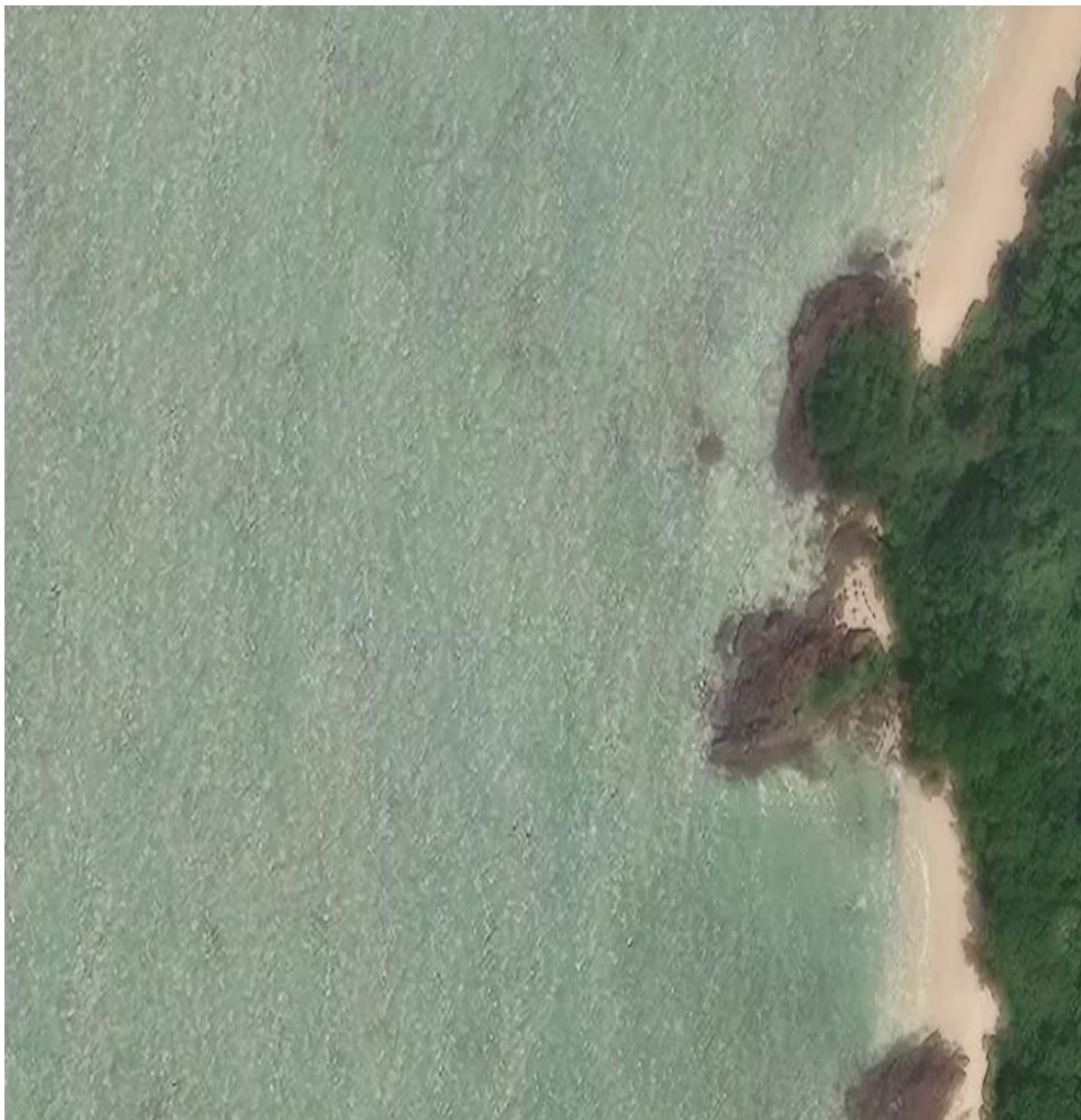
食べられて海底に転がっていたウミショウブ



(参考)
ウミショウブが群生していたころの写真 (2010年)



○グーグルマップ&ヤフーによる衛星写真（大型柵）



○グーグルマップ&ヤフーによる衛星写真（小型柵）

